

キリストを経験し、享受し、表現する (2)

標語

神のひとり子は肉体と成ることを通して、
人性を着て、神・人となりました。
それからこのキリストは復活において、
生まれて神の長子となりました。
また同時に彼の信者たちも生まれて
神の多くの子たちとなりました。

三一の神は、肉体と成ること、十字架、
復活、昇天の手順を経過して、命の霊の法則となり、
「科学的な」法則、自動的な原則として、
わたしたちの霊の中に設置されました。
これは神のエコノミーにおける最大の発見、
さらには回復の一つです。

わたしたちは神の子供たちとして、神・人であり、
神から生まれ、神の命と性質を所有し、
神の種族に属しています。
今やわたしたちは神の子供たちとして、
愛と光の中を歩くべきです。
それは神の内なる実質としての愛をもってであり、
また神の表現された要素としての光をもってです。

キリストは神の武具の構成要素です。
また祈りは、神の武具としてのキリストを適用する
唯一の、実用的な道です。

ダビデの子孫が神の御子となる

聖書：使徒 13:23, 33. ローマ 1:3-4, 8:29

- I. 使徒第 13 章でパウロは言いました。すなわち、ダビデの子孫から「神は約束にしたがって、イスラエルに救い主、イエスをもたらし」(23 節)、また「神は彼を復活させて、……この約束を完全に成し遂げられました。それは詩篇第二篇にも、『あなたはわたしの子である。この日わたしはあなたを生んだ』と書き記されているとおりです」(33 節)：
- A. 32 節と 33 節でわたしたちが見るのは、キリストが神の長子として父祖たちに約束され、そして神がイエスを復活させることによって、この約束を成し遂げたということです。
- B. 復活は、人なるイエスにとって誕生でした：
1. 彼は復活において神によって生まれ、多くの兄弟たちの間で神の長子となりました——ローマ 8:29。
 2. 彼は永遠から神のひとり子でした——ヨハネ 1:18, 3:16。
 3. 彼は肉体と成った後、復活を通して、彼の人性において神によって生まれて、神の長子となりました——ヘブル 1:6。
- C. パウロは詩篇第 2 篇 7 節において主の復活を見ることができました。「あなたはわたしの子。今日、わたしはあなたを生んだ」：
1. パウロは「今日」という言葉を、主の復活の日に適用しました。
 2. この事が意味するのは、キリストの復活が神の長子としての彼の誕生であったということです。
 3. 人の子であるイエスは、死人の中から復活させられることを通して生まれて、神の御子となりました。ですから、神がイエスを死人の中から復活させたことは、神がイエスを生んで神の長子とならせることでした——使徒 13:33。
- D. 神のひとり子は肉体と成ることを通して、人性を着て、神・人となりました(ヨハネ 1:14, 18. ルカ 1:35)。それからこの神・人は復活において、神から生まれて神の長子となりました(使徒 13:33, ヘブル 1:6, ローマ 8:29)：
1. 神のひとり子は肉体と成る前、人の性質を持っていませんでした。彼は神聖な性質だけを持っていました。
 2. 神の長子は復活において、神聖な性質だけでなく、人の性質も持っています。
- E. キリストは彼の復活を通して生まれて長子となり、また同時に彼のすべての信者も生まれて神の多くの子たちとなりました——I ペテロ 1:3, ヘブ

ル 2:10 :

1. これらの多くの子たちの間で、長子だけが神のひとり子です——ヨハネ 1:18. I ヨハネ 4:9。
 2. この神のひとり子は、彼の復活した人性において、神の長子でもあります——ローマ 8:29。
 3. 神の長子は、神性と人性の両方を持っています。わたしたち彼の信者も、神の多くの子たちとして、人の性質と神聖な性質の両方を所有しています——II ペテロ 1:4。
- II. わたしたちが知る必要があるのは、キリストが復活において、力の中で、人の性質を持つ神の御子と明示されたということです——ローマ 1:3-4 :
- A. キリストは肉体と成ることと復活の前、神の御子、すなわち、ひとり子でした——ヨハネ 1:18. 3:16。
- B. キリストは肉体と成る前、すでに神の御子でしたが、復活から神の御子と明示される必要が依然としてありました。なぜなら、彼は肉体と成ることによって、神性とは何の関係もない人の性質を着ていたからです——ヨハネ 1:1, 14. ローマ 8:3 :
1. 神の御子が肉体と成った後、彼の神聖な性質は肉体によって隠されました。
 2. キリストは彼の神性においてすでに神の御子でした。しかし、マリアから生まれた、人の性質を伴うイエスである彼のその部分は、神の御子ではありませんでした——ルカ 1:31-32, 35。
 3. キリストは彼の復活によって、彼の人の性質、すなわち彼の人性を聖別し、引き上げました。また彼は復活から、この人の性質を伴う神の御子と明示されました。この意味で、彼は復活の中で神の御子として生まれました——ローマ 1:3-4. 使徒 13:33. ヘブル 1:5。
 4. このように神の御子と明示されたことは、「力の中で」、すなわち、キリストの復活の力の中であり、その実際はその霊です——ローマ 1:4. ピリピ 3:10. エペソ 1:19-20。
- C. 復活の中で明示されることを通して、肉体と成る前にすでに神の御子であったキリストは、新しい方法で神の御子となりました——ローマ 1:4 :
1. 彼は肉体と成る前、神性だけを持つ神の御子でした。彼は復活を通して、神性と人性の両方を持つ神の御子と明示されました——4 節。
 2. もしキリストが人の性質を着なかったなら、神の御子と明示される必要はありませんでした。なぜなら、彼は永遠からさえ、神性においてすでに神の御子であったからです——ヨハネ 1:18. 17:5。
 3. 彼は肉体と成ることを通して人性を着て、復活の中で、人性を持つ神の御子と明示されました——ヨハネ 1:14. ローマ 8:3. 1:3-4. ヘブル

2:14:

- a. キリストは明示された神の御子として、二つの性質、すなわち神性と人性を持っています。今や彼が持っている人性は、天然の人性ではなく、復活の中で引き上げられた人性です——ローマ 1:4。
 - b. キリストの人の性質でさえ神の御子と明示されました。なぜなら、彼は神性と人性の両方を持つ神の御子と明示されたからです。
- D. キリストが人性を持つ神の御子と明示されたことは、「聖別の霊に」よりしました——ローマ 1:4:
1. 聖別の霊は、主イエスの内側にある命の本質です。彼が地上で肉体の中で生きていた時、彼の内側にはこの本質がありました——マタイ 1:18, 20. ルカ 1:35。
 2. 主イエスは死人の中から復活させられた時、彼の中にあった聖別の霊によれば、復活により、力の中で、神の御子と明示されました——ローマ 1:4。
 3. 彼は今や以前にもましてすばらしい方法で神の御子です。なぜなら、彼は今や神聖な性質と、人の性質(復活させられ、造り変えられ、引き上げられ、栄光化され、明示された人の性質)との両方を持っているからです——ローマ 6:4. ルカ 24:26. ヨハネ 17:5. 使徒 3:13。
- E. わたしたちはローマ第1章3節から4節と第8章29節を結び付ける必要があります:
1. 肉体と成ること、十字架、復活を通して、神の御子であるキリストは、神の長子となりました。そして多くの子たち、すなわちキリストの兄弟たちは、キリストのかたち^{かみ か}に同形化されつつあります——ヘブル 2:10-11. ローマ 8:29。
 2. ローマ第1章3節から4節で、神の御子であるキリストは原型です。第8章29節で、多くの兄弟たちは、原型から「大量に生み出された」人たちです。彼らは命の中で救われることによって、神の長子のかたちに同形化されます。
 3. この事はわたしたちを神化の事柄^{かみ か}にもたらしめます。またこの事が暗示しているのは、神のエコノミーにおける神の意図が、彼ご自身を人と成らせ、それによってキリストの中で、キリストにある信者であり神の子供たちであるわたしたちを、命、性質、構成において(しかし、神格においてではない)神とならせるということです。そのような暗示は極めて重要であり、最終的に、聖書はこの事柄をもって究極的に完成します——ローマ 8:29. 1:3-4. ヨハネ 1:1-13. I ヨハネ 3:1. 啓 21:2, 10-11。